

年度別

16

平成 16 年度

自己評価

/ 6 A・B・C

(1) $(-5) \times 2 + 9$ を計算しなさい。

(2) $\sqrt{18} - \sqrt{2}$ を計算しなさい。

(3) $x = 18$ のとき、 $x^2 + 5x + 6$ の値を求めなさい。

(4) 二次方程式 $(x + 7)^2 = 5$ を解きなさい。

(5) 連立方程式 $\begin{cases} x + 6y = -4 \\ 2x - 3y = 7 \end{cases}$ を解きなさい。

(6) 関数 $y = ax^2$ で、 x の変域が $-2 \leq x \leq 1$ のとき、 y の変域が $0 \leq y \leq 12$ となりました。このとき、 a の値を求めなさい。

年度別

17

平成 17 年度

自己評価

/ 6 A・B・C

(1) $6 \div (-2) + 1$ を計算しなさい。

(2) $\sqrt{8} - \sqrt{2}$ を計算しなさい。

(3) $x = 15$ のとき、 $x^2 - 10x + 25$ の値を求めなさい。

(4) 二次方程式 $(x + 1)^2 = 7$ を解きなさい。

(5) 連立方程式
$$\begin{cases} 3x - y = -3 \\ 2x + y = 8 \end{cases}$$
 を解きなさい。

(6) 関数 $y = 3x^2$ で、 x の値が 1 から 4 まで増加するときの変化の割合を求めなさい。

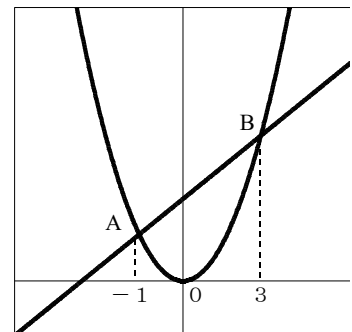
年度別

18 平成 18 年度

自己評価

/ 6 A・B・C

- (1) $7 + 5 \times (-3)$ を計算しなさい。
- (2) $4\sqrt{3} + \sqrt{12}$ を計算しなさい。
- (3) $x = \sqrt{5} - 1$ のとき、 $x^2 + 2x + 1$ の値を求めなさい。
- (4) 二次方程式 $(x - 2)^2 = 6$ を解きなさい。
- (5) 連立方程式 $\begin{cases} x + 2y = 5 \\ x - y = -1 \end{cases}$ を解きなさい。
- (6) 右の図のように、傾き 1 の直線が、関数 $y = ax^2$ のグラフと、2 点 A, B で交わっています。A, B の x 座標が、それぞれ -1 と 3 のとき、a の値を求めなさい。



年度別

19

平成 19 年度

自己評価

/ 6 A・B・C

- (1) $(-3) \times 2 + 8$ を計算しなさい。
- (2) $\sqrt{18} - 2\sqrt{2}$ を計算しなさい。
- (3) $x = 17$ のとき、 $x^2 + x - 6$ の値を求めなさい。
- (4) 二次方程式 $(x + 5)^2 = 3$ を解きなさい。
- (5) 連立方程式 $\begin{cases} x + 3y = -1 \\ x - 2y = 4 \end{cases}$ を解きなさい。
- (6) 関数 $y = \frac{1}{4}x^2$ で、 x の変域が $-2 \leq x \leq 4$ のとき
 y の変域を求めなさい。

年度別

20 平成 20 年度

自己評価

/ 6 A・B・C

(1) $(-12) \div 3 - 2$ を計算しなさい。

(2) $5\sqrt{3} - \sqrt{27}$ を計算しなさい。

(3) $x = 14$ のとき、 $x^2 + 2x - 24$ の値を求めなさい。

(4) 二次方程式 $(x - 3)^2 = 5$ を解きなさい。

(5) 連立方程式 $\begin{cases} 3x + y = 9 \\ 5x - 2y = 4 \end{cases}$ を解きなさい。

(6) 右の図の曲線は、関数 $y = ax^2$ のグラフです。
グラフから、 a の値を求めなさい。

